

庁舎等建設に関する協議会について

2022年10月31日
日本共産党小金井市議団

今年4月28日に市長との間で締結した庁舎等建設に関する協議会は、5月10日から10月28日まで10回の協議を行った。

第1回 各会派の新庁舎等建設についての意見を明らかにし、2回目以降①設計、②浸水対策、③建設時期、④建設コストなどについての議論が行われた。

正副座長の努力には感謝するが、残念ながら目的に沿う議論の不十分さは否めず、議会と市との前向きな集約に至らなかったことを残念である。

先日会派視察で、千葉県八千代市を調査したが、大胆な見直しを行っている背景には、建設の幹になる部分として「市民生活を優先させる」ということがあった。また、他市の市役所建設の経験者にきってもらって建設計画を立てられていることも学ぶことが大きかった。

顧みると市長と市が「大胆な見直しをすることも含めて協議する」と言いながら、これまでの設計に執着し、見直そうという姿勢が見られなかったのは極めて遺憾である。また市長の議論を進めるうえでのリーダーシップもなく、右往左往した感が否めない。

今回の協議会については運営や協議の在り方について、以下の課題や問題があったことを指摘しておきたい。

- (1) 議会側から要求があり、市側が作成したいいくつかの建設パターンのスケジュールは市側の意図的な考えが働いたものと受け止めざるを得ず、比較の参考にならなかった。
- (2) 市長と市側が方針を持たずに協議に臨んでいるため、お互いの協議とならず、議員間討議で終わった感が否めない。深めることができなかった。
- (3) 日本共産党と、情報公開こがねい、元気！小金井が、代替案を提案し議論したが、今後は十分に精査していただきたい。
- (4) 財政計画が非公開で示されたが、十分な精査ができずに終わっている。あらためて時間をとった議論が必要である。

以上